

令和7年度 壱岐市立箱崎小学校 学力向上プラン

【学校教育目標】

箱崎小は「主体的につながる力」を身に付けた 心豊かで たくましい 箱崎っ子を育てます



- (知)かしこい子…主体的に学び合う子
- (徳)やさしい子…自他を大切にする子
- (体)たくましい子…やり抜く力のある子



《昨年度の研究の課題と成果より》

△書く活動の質…校内研究授業においては、様々な視点での協議が行われ、児童に求める書くレベルの質の向上が見られたが、日々の授業においては、質の向上を常に意識して取り組むことはできたが、全体の質を上げるまでには至らなかった。
○書く時間の確保…教師にとっては、児童の考えの把握と意図的の指名につながり、児童にとっては、自分の考えを整理し、考えを確かにすることができた。書く手段や内容にもこだわり、単元にあった意図を明確にした書く活動を検討することで授業力向上へとつながった。
○ICTの効果的な利用…見通しボード、ふりかえりカードの蓄積など、ICT(ミライシード)を継続的活用で、児童同士の考えの共有が容易になったり、授業の中での時間のゆとりがうまれたりすることにつながった。

《検証方法》

- ①CRT学力テストの全国比における数値目標による検証
 - ・全校平均が「全国比105以上」
 - ・昨年度の自学年の平均得点率を上回る。
- ②校内研究授業における検証
 - ・学校訪問(中間発表)、校内研授業において、授業チェックシートでの評価の集計「・児童生徒が主体的に学んでいた。(対話への参加や記述等)・児童生徒は考えを深めていた。・児童生徒は本時の目標を達成できたか。(振り返り)」の項目が2.4以上(満点3)
- ③道徳の児童アンケートによる検証
 - ・2月実施のアンケートにおいて全項目3.2以上(満点4)

《学力調査の結果より》

【昨年度のCRT学力検査(国語)より】
○2観点平均得点率における全校平均は、全国比105を超えた。
△2観点平均得点率における全校平均は、昨年度平均より下回った。
【昨年度のCRT学力検査(算数)より】
○2観点平均得点率における全校平均は、全国比110を超えている。
・日々の授業における取組や学習タイムにおける指導が結果として表れているといえる。書く活動に継続的に取り組んでできていることが、学力テストにおいても正しい記述を行う、必要な情報を読み取り、正確に答えを出すことのできる児童を増やしていると考えられる。

《校内研究を中心にした実践》

研究主題 主体的に他者とつながり、よりよい生き方について考えを深める箱崎っ子の育成
～「特別の教科 道徳」における効果的な問いの設定と対話的な学習活動の工夫を通して～

《道徳の学習と学力向上のつながり》

- 自己肯定感の向上…自分を大切にすることが育つことで意欲的に学習に取り組む。
- 学習への主体性が育つ…対話的・深い学びは他教科にも応用され、学ぶ姿勢そのものを変える。
- 集中力・規律ある行動が身に付く…自分を律する力や周りとの協力する力がつく。
- 人間関係の質の向上…人間関係が良くなると安心して学べる環境が整う。

《日々の授業改善》

- 「体験的な活動を取り入れた問題解決的な学習過程」をもとにした授業の組み立て・実施。
- 子どもの実態に合わせた効果的な問いを意識した授業作り。
- 自分の思いや考えを自発的に交流したくなる対話的な学習活動の工夫。
- 子どもが自己選択、自己決定できる場面の意図的、効果的な設定。
- 全体授業、部会授業における授業チェックシートを用いた相互評価。
- ICT機器等を活用し、子ども達同士で考えを深めていけるような活動の充実。

《スキルアップへの取組》

- 学習タイムの計画と実施
- 年5回の漢字・計算検定の実施
- 学力テストの分析と活用
- ミライシード等を活用したドリル学習・課題配信の工夫
- 図書室環境の整備・読書活動の充実による読書量の増加

《学習環境の充実・学びに向かう体力の育成》

- タブレット端末の効果的な活用と情報活用能力体系表を基にした指導によるスキルアップ
- 「親子でチャレンジ! 体づくりすごろく」に年6週間取り組み、親子で関わる時間の増加
- 教育相談の充実による個に応じた最適な学びの場の提供

《家庭学習の充実》

- 家庭学習時間の確保と自主学習の推奨
- 月1度の「はこ1グランプリ」の実施による自主学習ノートへの取組の活性化
- 効果的な家庭学習方法の追求